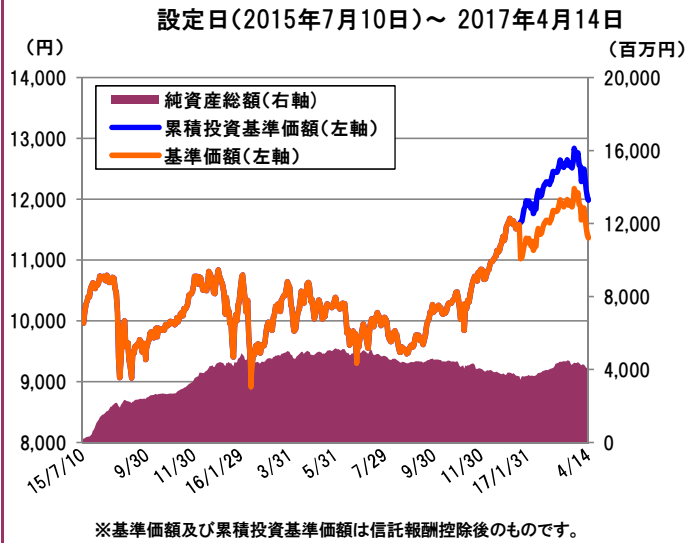


●信託設定日:2015年7月10日 ●信託期間:無期限 ●決算日:年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日)

運用状況 2017年4月14日 基準

基準価額と純資産総額の推移



ファンドの現況

|        |          |
|--------|----------|
| 基準価額   | 11,363 円 |
| (前週末比) | ▲432 円   |

※期間収益率は税引前分配金を再投資したものと算出した累積投資基準価額により計算しております。

| 期間収益率 |       |
|-------|-------|
| 期間    | ファンド  |
| 設定来   | 19.8% |
| 直近1週間 | -3.7% |
| 直近1カ月 | -4.7% |
| 直近3カ月 | 2.9%  |
| 直近6カ月 | 18.3% |
| 直近1年  | 14.3% |
| 直近3年  | —     |
| 直近5年  | —     |

※当該日が祝日等の場合には、前営業日からの収益率を記載しています。

組入資産の状況(単位:百万円)

| ファンド    | 金額    | 純資産比   |
|---------|-------|--------|
| マザーファンド | 4,010 | 99.0%  |
| 現金等     | 42    | 1.0%   |
| 純資産総額   | 4,052 | 100.0% |

| マザーファンド | 金額     | 純資産比   |
|---------|--------|--------|
| 国内株式    | 13,468 | 96.2%  |
| 現金等     | 525    | 3.8%   |
| 純資産総額   | 13,993 | 100.0% |

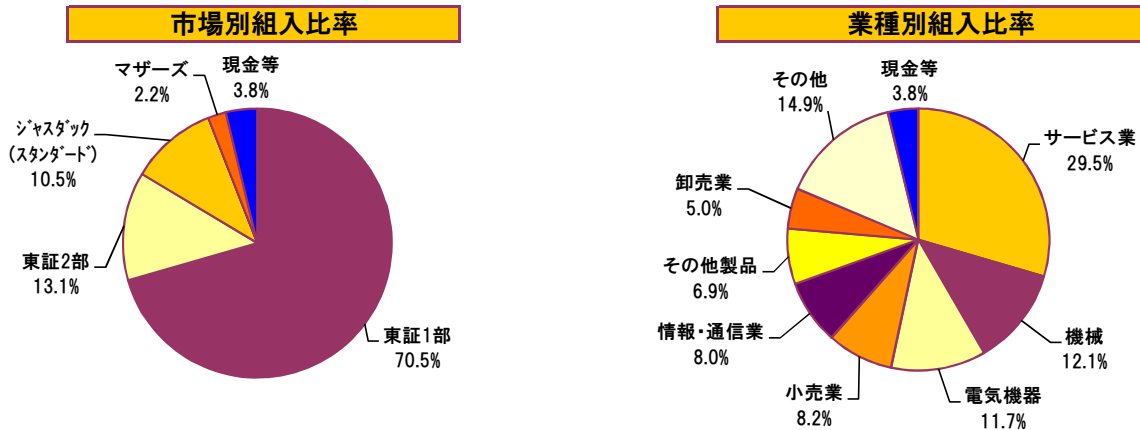
※「現金等」には未払金を含むため、マイナス表示になる場合があります。

収益分配金(税引前)推移

|     | 第1期       | 第2期       | 第3期       | — | — | 設定来累計 |
|-----|-----------|-----------|-----------|---|---|-------|
| 決算日 | 2016/1/22 | 2016/7/22 | 2017/1/23 | — | — | —     |
| 分配金 | 0円        | 0円        | 600円      | — | — | 600円  |

※収益分配金は1万口当たりです。

運用資産の状況 (本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。)



※組入比率はマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入上位銘柄

| 銘柄                 | 業種       | 組入比率  |
|--------------------|----------|-------|
| 1 SHOEI            | その他製品    | 3.54% |
| 2 アミューズ            | サービス業    | 3.51% |
| 3 福井コンピュータホールディングス | 情報・通信業   | 3.43% |
| 4 プレステージ・インターナショナル | サービス業    | 3.42% |
| 5 ニチハ              | ガラス・土石製品 | 3.40% |
| 6 前田工織             | その他製品    | 3.31% |
| 7 エン・ジャパン          | サービス業    | 3.17% |
| 8 日進工具             | 機械       | 3.04% |
| 9 サカイ引越センター        | 陸運業      | 3.00% |
| 10 ユーシン精機          | 機械       | 2.98% |

組入銘柄数  
48銘柄

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 活動メモ 2017年4月14日 基準

4月下旬から2017年3月期の決算発表が本格化しますが、足元ではその決算に先駆けて業績予想の修正を発表する企業が多くなる時期です。メディアの注目は派手な上方修正や巨額の損失計上などに集まりがちですが、株式投資家としては、見た目の数字よりもその内容をどう捉えるかが重要だと思っています。例えば、想定外の損失を計上して業績が下方修正された場合、その要因が一過性なのか構造的なのかによって見方は大きく変わります。しかも、構造的な問題であったものが、その損失計上によって解決されることもありますので、単純に数字だけを見て読み取れるものではありません。また、上方修正の場合も同様で、額面通りに好調が続いている例もありますし、実は実力以上の結果が出ているということもあるでしょう。

業績修正に限らず、資金調達、M&A(企業の合併・買収)、提携、人事異動、組織改編など、企業から発信される情報を正しく読み解くためには、開示されている資料を丹念に読み込むことはもちろん、情報が不足しているならば情報開示担当者に電話で直接話を聞くことも欠かせません。ただし、それ以上に重要なのは、企業の経営戦略や経営者の考え方などを理解しておくことです。企業の行動には必ず理由がありますので、これらを深く理解できていれば、発信される情報の解釈に役立つのは間違いありません。また、想定外の数字が発表されたとしてもそれに一喜一憂せず、中長期的な視点で投資することができると思います。そのためには、企業に対する継続的な調査・分析が不可欠です。本ファンドとしては、引き続き多数の企業と定期的な面談調査をさせて頂きながら、魅力的な企業についての理解をより深めていきたいと思っています。

## 銘柄紹介: ~ラウンドワン(4680)~

今週は、地域密着の屋内型複合レジャー施設を全国展開する「ラウンドワン」をご紹介します。ボウリング、アミューズメント(ゲームセンター)、カラオケ、スポッチャ(スポーツを中心とする時間制遊戯コーナー)など、多彩な“遊び”が1つの建物のなかで楽しめる同社の店舗は、大人から子供まで、家族や友人同士のグループはもちろん、お一人様でも自分のペースで各種のレジャーを楽しむことが特徴です。

複数のレジャーで集客することは経営のリスク分散という視点でも有効で、例えば2017年3月期の既存店売上高は、ボウリングとスポッチャが前期比減収となったものの、アミューズメントとカラオケがカバーして、全社では増収となりました。それでも、消費増税後の消費不振の影響などで、同社の既存店売上高は4年連続で前年割れとなっていました。ボウリングとカラオケで大人1人に対して小学生1人を無料とするキャンペーンや、自社店舗同士が競合するエリアでの退店といった施策が奏効し、2017年3月には4つのレジャーがいずれも前年同月比増収に転じています。

国内事業が安定感を取り戻しつつあるなか、育成中の米国事業が開花期を迎えています。ボウリング、アミューズメント、カラオケなどが楽しめる日本と同様の店舗を、2010年8月にロサンゼルスで初めて出店。その後は最適な立地を探りながら年間数店のペースで出店を継続し、2017年3月末の店舗数は15店となっています。営業実績が出ている13店で見ると、初期投資回収後の営業利益率25%の好調店が5店、同18%の平均店が6店、同3%の低調店が2店となっており、最適な立地を見出しつつあるといえます。今後は年間10店以上の出店を続けることで、足元では全売上高の8%にとどまる米国事業の売上構成比(2017年3月期第3四半期累計)を一層高める方針です。“メイド・イン・ジャパン”の複合レジャー施設を海外に展開することで、さらなる成長を目指しています。

本ファンドのマザーファンドに助言しているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。  
ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

本ファンドの主なリスクとしては、価格変動リスク、流動性リスク、信用リスクがあります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### お申込メモ

|       |  |
|-------|--|
| 信託設定日 | 平成27年7月10日   |
| 購入単位  | 販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。  |
| 購入価額  | お申込日の基準価額(ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)   |
| 購入代金  | 販売会社の定める期日までにお支払いください。   |
| 決算・分配 | 年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。<br>※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                      |
| 信託期間  | 無期限  |
| 換金価額  | 解約申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額。代金は、原則解約申込日から起算して5営業日目からお支払いします。  |
| 課税関係  | 課税上は株式投資信託として取扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。<br>※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。 |

### ファンドの費用

#### ■ 投資者が直接的に負担する費用

|         |  |
|---------|--|
| 購入時手数料  | 購入申込金額に3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。 |
| 信託財産留保額 | 換金申込受付日の基準価額に対し0.3%                                  |

#### ■ 投資者が間接的に負担する費用

|              |  |
|--------------|--|
| 運用管理費用(信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に年1.8144%(税抜:年1.68%)を乗じて得た金額とします。   |
| その他の費用及び手数料  | ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。※これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。 |

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません

### ファンドの関係法人

|        |  |
|--------|--|
| <委託会社> | SBIアセットマネジメント株式会社(信託財産の運用指図及び運用報告書の作成等を行います。)<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号<br>加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 |
| <受託会社> | 三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンド財産の保管・管理等を行います。)   |
| <販売会社> | ※次頁をご参照ください。(受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。)   |

- ・投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- ・投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- ・投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- ・投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

【販売会社情報一覧表】

| 金融商品取引業者名     |              | 登録番号等                | 加入協会    |                         |                         |                            |
|---------------|--------------|----------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|               |              |                      | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業<br>協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |
| 株式会社SBI証券     | 金融商品<br>取引業者 | 関東財務局長(金商)<br>第44号   | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 高木証券株式会社      | 金融商品<br>取引業者 | 近畿財務局長(金商)<br>第20号   | ○       |                         |                         |                            |
| マネックス証券株式会社   | 金融商品<br>取引業者 | 関東財務局長(金商)<br>第165号  | ○       | ○                       | ○                       |                            |
| 楽天証券株式会社      | 金融商品<br>取引業者 | 関東財務局長(金商)<br>第195号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| SMBC日興証券株式会社  | 金融商品<br>取引業者 | 関東財務局長(金商)<br>第2251号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 株式会社静岡銀行*     | 登録金融<br>機関   | 東海財務局長(登金)<br>第5号    | ○       | ○                       |                         |                            |
| スルガ銀行株式会社     | 登録金融<br>機関   | 東海財務局長(登金)<br>第8号    | ○       |                         |                         |                            |
| カブドットコム証券株式会社 | 金融商品<br>取引業者 | 関東財務局長(金商)<br>第61号   | ○       | ○                       |                         |                            |
|               |              |                      |         |                         |                         |                            |

■ 販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

\* 株式会社静岡銀行では、インターネットのみの取扱いです。

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。